

# あがまち

## 議会だより



天までとどけ さいの神

### 主な内容

議長あいさつ・議員集合写真	2P
行政研修	3P
12月定例会	4～5P
委員会報告	6～7P
人事、請願・陳情	8P
一般質問	9～21P
議会基本条例に向けて	22P
町民の声	23P
広報委員会から	24P

※再生紙を使用しています。

No.19  
2010.2

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112  
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地  
発行責任者：議長 遠藤信也

## 広報対策 特別委員会報告

委員長 星 公司



大郷町の広報委員のみなさん

- 閉会中の所管事務調査を実施しましたので報告します。  
実施日 平成21年12月2日(水) 3日(木)
- 調査地 宮城県 大郷町
- 調査事項
  - ・議会広報の基本方針
  - ・議会広報の編集方針など
- 概要
  - ①議会広報誌の名称 「おおさと みんなの議会」(昭和47年6月創刊)
  - ②議会広報の基本方針
    - ・読み手である町民の立場に常に立って、読みやすく、わかりやすく、親しまれる議会報づくりに努める。
  - ③議会広報の編集方針
    - ・議会の活動内容を詳しく、かつわかりやすく町民に知らせる。
    - ・町民が知りたい情報、町民に知らせたい情報の掲載に重点を置く。
    - ・表記は常用漢字、現代仮名づかいを使用するとともに



読みやすい誌面づくりを学ぶ

官庁用語はわかりやすい言葉に言い換えるか解説をつける。

・文章は簡潔にまとめ、レイアウト(写真見出し、余白等)を工夫し、読みたくなるような紙面づくりを心がける。

まとめ  
大郷町議会広報誌「おおさと みんなの議会」は作成にあたって読みやすいように文章は簡潔に、文字数は少なく質問・答弁の力所においてゴシック・明朝体文字などで使

い分けし、細かい配慮が紙面随所になされていきました。さすが町村議会広報全国コンクールで連続入賞・優秀賞を受賞されるだけであると痛感したところです。

また、この度の視察研修では大郷町側と活発な質疑応答と意見交換がなされ、得られたものも多くありました。その成果については町民への情報提供と開かれた議会を進めるため、読みやすい議会だより作成に生かしていきたいと思えます。

### 編集室より

新年明けましておめでとうございます。読みやすい紙面に向けて、編集委員一同努力いたしております。

皆さんの参加できる議会報を目指してまいります。議会及び議会報に、たくさんのご意見やご要望を、お寄せいただけますよう、宜しくお願ひ申し上げます。

今年も皆さんにとって最良の年でありますように。

(猪俣)



広報対策特別委員会  
委員長 星 公司  
副委員長 渡 部 英 夫  
委員 猪 俣 誠 一  
委員 佐 久 間 勇 夫  
委員 入 倉 政 盛  
委員 小 池 隆 晴

# 行政研修報告

今後の町の子育て支援、高齢者福祉医療のあり方について、岩手県西和賀町での在り方を、また、町のバイオマス構想への対応で、国のモデル事業を取り入れた山形県最上町の木質バイオエネルギー利用についてを研修した。

# 謹賀新年



新春を迎えて  
議長 遠藤 信也

新年あけましておめでとうございませう。皆様にはご家族おそろいで健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。新政权誕生により、国と地方の有り様に戸惑いを覚えながらも、大きな変化が起きていることを実感しております。これまでの価値観や既成概念にとらわれることなく、柔軟な発想のもとで政策の転換を図り、地方分権を一層推進して、地域の活性化を進めていただくことに期待してまいります。経済不況や高齢化が進む中、行政に対する要求や価値観が多様化しておりますが、何にもかも行政が担う部分というのにも限界があり、町民の皆様の知恵と活力をお借りし、「共に考え、共に汗する」仕組みをつくり、互いに支え合う社会を構築しながら、この町に住んでよかつた実感でき、誇りと愛着のもてるまちづくりを進めていかなければと考えております。今、生まれ育った自分たちのまちに自信を持ち、いろいろなことにチャレンジしている若者も増えております。もともと前に出てきてほしいと思っております。私たちは彼らが活動できるステージをつくり、元氣な町づくりを支援してまいります。先人たちが築いてきた素晴らしい歴史、文化、伝統を後世に伝えるべく、また、発展させていくため議会としても努力してまいります。また、発展させるべく、より一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして最良の年となりますことを、心からお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

## 社会厚生

委員長 齋藤 秀雄

### 子育て支援と福祉医療

子育て支援と高齢者福祉医療について、研修することとし西和賀町を訪ねた。保育料は国の基準徴収額の1/2の額や上限設定をしていること、多子軽減策は2人目は半額3人目は無料等環境整備していた。放課後児童クラブについては、公設民営で社会福祉協議会が委託運営していた。高齢者の福祉・医療施策については高齢者の健康保持や経済的負担軽減、町内医療機関の利用促進、国保沢内病院の在り方等の説明を受けた。子育て支援や放課後児童クラブの在り方は阿賀町でも再度検討する課題とすること。高齢者福祉医療施策は地域医療の基本から緊急に検討をしなければならないと認識させられた。我が町は高齢化率の高さから子育て支援はもとより、地域医療連携等について議会はしっかりと研鑽し、町民地域ニーズに即応した施策を提言していくこととした。



子育て支援を研修

## 木質系バイオマスエネルギーの利用

### 概要

森林整備の必要性が問われている今、木質バイオマスエネルギーに着目、実験事業として、木質バイオマスエネルギーを利用する木質チップの燃焼熱エネルギーの利用である。

### 課題

初回設備投資にかかる費用は化石燃料設備の数倍以上の負担が生じる。バイオマス燃料の供給体制とバイオマス燃料の価格が確立されていない。

当町公営施設にも、木質ペレットの熱利用を行っているが、町の96%は森林資源が眠っている。間伐材、雑木林の森林資源の多目的活用を視野に林業の活性化を図る為の創意工夫が求められる。

## 産業建設

委員長 伊藤 武一



木質バイオ利用状況

## 明けましておめでとうございます



議長	遠藤 信也	副議長	五十嵐 隆	議員	波田 哲夫	神田 八郎	宮澤 勝郎	石川 一家	高橋 一渡	猪俣 誠一	伊藤 武一	星 公一	斎藤 秀司	山藤 雄一	山部 英一	渡部 英夫	宮川 弘夫	佐久間 勇夫	佐藤 郁夫	清田 輝子	入倉 政盛	小池 隆晴	折笠 泰二
----	-------	-----	-------	----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	-------	-------

# 補正予算 総額 154億1091万5千円 追加 978万8千円

## 12月定例議会

12月16日から18日までの3  
日間で14案件が可決されまし  
た。

### 補正総額

978万8千円

- 総務費 △102万7千円
  - ・職員給与費
  - ・情報ネットワーク管理費
  - ・電算システム改修
- 民生費 2046万6千円
  - ・地域活動総合支援センター  
整備工事
- 衛生費 2369万7千円
  - ・インフルエンザ予防接種委  
託料
  - ・予防接種助成金
- 農林水産業費3億6千万円
  - ・優良繁殖基礎雌牛導入
  - ・林道改良舗装
- 商工費 215万5千円
  - ・阿賀町検定実行委員会補助  
金
- 土木費 △278万8千円
  - ・施設修繕工事
  - ・県営道路事業負担金

- ・除雪機械購入
- ・津川地域まちづくり交付金  
事業
- ・町道鹿瀬橋高欄改塗装
- 消防費 937万9千円
  - ・全国瞬時警報システム整備  
工事費
- 教育費△4549万3千円
  - ・上条小学校屋内体育館大規  
模改修事業工事請負費



完成またれる(町道蟬ヶ平線)

## 11月臨時会

### 工事請負契約の変更

- ・最先端技術行使
  - 津川小学校木質バイオマスエネルギー利用事業  
ペレットボイラー設置工事請負費の変更  
総額8729万8千円(内210万7千円増)
- 契約者  
東蒲原郡阿賀町野村1805-1  
安田設備工事(株)東蒲営業所



活動の拠点 支援センター

- ### 特別会計補正
- 国民健康保険特別会計 4142万2千円
  - 介護保険特別会計(保健事業勘定) △49万3千円
  - 診療所特別会計 822万9千円
  - 簡易水道事業特別会計 224万3千円
  - 下水道事業特別会計 △2722万6千円
  - 水道事業会計 210万円
  - ・水道施設移転補償業務委託
- ### 旧慣使用権の廃止
- 旧村民使用地(芹田区)  
・阿賀町大字日野川字下箕輪  
島甲2228番  
面積4023平方メートル



汚泥引抜ポンプ試運転確認

### 汚水処理場機能強化

白崎地区汚水処理場が機能劣化の為の強化対策工  
事について、腐食ガスによる設備の更新等による  
請負額の変更

- 総額1億154万5千円(内809万5千円増)
- 契約者  
新潟市西区流通センター2-2-3  
昱工業株式会社

### 条例一部改正

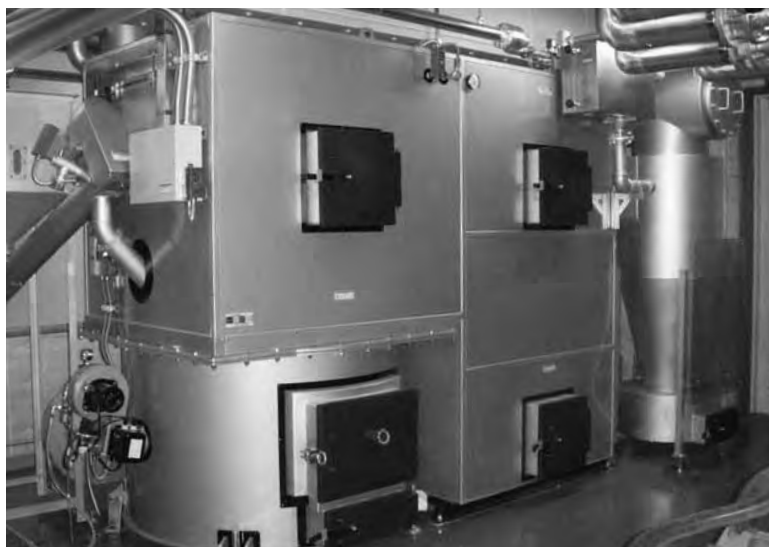
- 阿賀町特別職の職員の給与及び旅費に関する条  
例
- 阿賀町職員の給与に関する条例
- ・住居手当、期末手当、勤勉手当、給料月額等

### 条例一部改正

- 国民健康保険税条例の一部改正
- 消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
- ・定員1100人を900人に改める等

### 工事請負契約の変更

- 町道蟬ヶ平線3工区5期工事の請負額の変更  
総額4億2498万9千円(内7533万9千円増)
- 契約者  
東蒲原郡阿賀町日出谷乙2485  
株式会社 巴山組



津川小学校ペレットボイラー設備

### 農業振興施策

#### 1. 集団生産組織農業

安心安全食材を消費者に提供する為の生産技術の開発

#### 2. 地産地消

化学肥料、農薬の最小限に抑えた独自栽培基準を設定し学校給食、直売所で販売

#### 3. 農地の遊休荒廃地防止対策

遊休荒廃地は未整備地に多くあり、耕作放棄地にならない為の対策として、町と地域が一体となり取り組んでいる。

耕作放棄遊休地を、町で借り受け牛の放牧、鳥獣被害に強い柚の栽培を委託している。

課題は放牧による悪臭対策、柚の販路の拡大（柚の需要開発途上であるとのこと）

我が町でも放棄地等の利用に何をすべきか、この研修で得たことを、農家、農協、行政が一体となり取り組む事を強く感じた。

### 産業建設

委員長 伊藤 武一

【富山県立山町】



遊休荒廃地利用の研修

### 総務文教

委員長 石川 太一

告知端末機の導入に対し、住民より、利用等に関し不安の声が多く、1月18日に全員協議会で討議する事になった。



問題が指摘された告知端末機

### 告知端末機導入の経緯と今後懸念される諸問題への対応

これから供用が開始される告知端末器が製造中止あるいは販売中止されているとの情報があり、調査をした。

#### 調査概要

機器決定時点では販売中止及び製造中止の情報はない。そこで契約業者と対応について協議した内容を執行部側から説明を求め、今後懸念される課題と対策を協議した。

1. 部品の保証期間については引き渡し後7年間とし、確約書を提出されること。
2. 告知端末機を200~300台確保し、転入者等新たな加入者に対応すること。
3. 予備台数の不足した場合は最新後継機を購入すること。

#### まとめ

販売中止の情報については契約業者から事前に説明がなされるべきであり、当然議会にも報告されるべきであった。契約業者にも強く指導を求め、管理監督に努めてほしい。

## 委員会報告

各常任委員会がそれぞれの所管事項である「定住対策」「農業振興」「次世代育成支援」について、事業成果のあがっている先進地での研修を行っている。

### 総務文教

委員長 石川 太一

【長野県飯山市】



定住対策を研修

### 飯山市の「定住対策」

当町と同じ豪雪地域でありまた信州長野の山間部でありながら、首都圏に情報発信を行ない定住促進に努力している飯山市を視察した。

#### 調査概要

ふるさと回帰センターを「いいやま住んでみません課」内に設置、一時滞在、長期滞在を体験して、農業の楽しさ、大変さ、喜びを実感し、体験を通じて定住促進を支援する企画。首都圏での情報発信と現地での移住支援とがある。定住支援策には住居情報や支援情報を提供し、補助金も支給する。また出会いの場を創設し婚活の応援も行なっていて着実に成果をあげている。

#### まとめ

都会をターゲットに農業体験ツアーの中から定住対策を実施している。人口は自然減により微減しているがこの対策により大幅な減少となっていない。当町も定住対策については努力しているが、結果に結びついていない面もあり、新たな企画が必要である。

### 次世代育成支援

次世代育成支援を行っている城里町を訪ねた。我が町の「出生祝い金」制度に類似するような施策ではないかと思いつきながら説明を受けた。

3人目に手厚くする制度で「出生祝い金」は3人目の養育者に10万円支給、3歳到達時10万円、6歳到達時に10万円と合計で30万円支給する制度でした。阿賀町の「出産祝い金」制度を検討することを感じた。保育園運営や学童保育も説明を受けた。

保育園運営は私立と公立があり町の支援の在り方を考えさせられた。学童保育は公設・民設があったが全ては民営で運営されていた。運営する側や子供を預ける側が協議し運営していた。指導者の確保や指導者側も安定した労働条件で取り組むメリットがあるとのことでした。

阿賀町の支援策も充実していると思うが、議会として今後、運営方式を研修・研鑽を重ねる課題とした。

### 社会厚生

委員長 斎藤 秀雄

【茨城県城里町】



次世代育成支援に学ぶ



## 働く場の確保

高橋 渡 議員

平成22年3月末をもって一つの事業が他県へ移転の為に従業員並びに協力企業の従業員合わせて60名弱の人員削減がなされることについては大きな問題であり、町として何かの行動をとられたのか。新規事業の導入等を親会社に促すべきと考えるがいかがか。また、阿賀町の誘致企業の中にその兆しはないのか。事前の目配り、気配りが必要と考えるが如何か。前政権に行われなかった景気対策の総括として、町は雇用確保にそれ相当の効果を上げることができたとはいえますが、その検証をお聞かせ願いたい。

次にこの不景気の中、町ではさらに働く場所がなく、若い世代を中心に不安に陥っている観点から働く場作りが緊急の課題であり、ありとあらゆる手段を講じて、不安を取り除く必要があると考えます。町として失業者に対して更な



働く場の確保を

る支援活動を真に取り組んでいただきたい。

**町長**  
全体の雇用状況は以前として非常に厳しい状況が続いている。新潟昭和株の件につきましては現状と今後の予定について伺ったところです。社としては、今後は従業員、下請け各社との話し合いが進められる中で、できる対応はと

られるということでした。積極的に連携していくということにやぶさかではなく、状況を見ながら、皆さんと連携しとれる対応はして行きたい。

町内の企業の現状については雇用対策関係で手を打たれておりますので、今後は詳細を把握しながら、対応をして行きたいと思っております。

緊急雇用対策事業は5事業を実施、また、今回の補正でも2事業を計上し、延べ20名の雇用を合せてして行きたい。来年度事業につきましても、各課での事業への取り組みを検討し、多くの雇用の場を確保して行きたいと考えている。今後とも国、ハローワークとの連携を強化し、町内企業の動向を注視しながら、あわせて、それに対する積極的なアクションも考えながら対応して行きたい。

必要に応じて行動することやぶさかではなく、皆さんと連携しながら、解決できるものであれば情報交換を密にしながら対応していかねばならないと思っております。

### 新潟昭和株 事業縮小

質問

平成22年3月末をもって一つの事業が他県へ移転の為に従業員並びに協力企業の従業員合わせて60名弱の人員削減がなされることについては大きな問題であり、町として何かの行動をとられたのか。新規事業の導入等を親会社に促すべきと考えるがいかがか。また、阿賀町の誘致企業の中にその兆しはないのか。事前の目配り、気配りが必要と考えるが如何か。前政権に行われなかった景気対策の総括として、町は雇用確保にそれ相当の効果を上げることができたとはいえますが、その検証をお聞かせ願いたい。

### 連携し、取れる対応はしていききたい

町長

全体の雇用状況は以前として非常に厳しい状況が続いている。新潟昭和株の件につきましては現状と今後の予定について伺ったところです。社としては、今後は従業員、下請け各社との話し合いが進められる中で、できる対応はと

られるということでした。積極的に連携していくということにやぶさかではなく、状況を見ながら、皆さんと連携しとれる対応はして行きたい。

町内の企業の現状については雇用対策関係で手を打たれておりますので、今後は詳細を把握しながら、対応をして行きたいと思っております。

緊急雇用対策事業は5事業を実施、また、今回の補正でも2事業を計上し、延べ20名の雇用を合せてして行きたい。来年度事業につきましても、各課での事業への取り組みを検討し、多くの雇用の場を確保して行きたいと考えている。今後とも国、ハローワークとの連携を強化し、町内企業の動向を注視しながら、あわせて、それに対する積極的なアクションも考えながら対応して行きたい。

### 親会社に 新規事業の招請

質問

私も社に行って話しをしてきました。答えは同じですがこのまま手をこまねいているよりも、何かしらのアクションを親会社に取るべきと考えるが如何か。阿賀町の自然、水、環境を利用した事業は見つからないものか。喜多方事業所もかつては存続の危機にありましたが当時の自治体の首長の努力等もあり、現在に至っています。また、町で導入しましたバイオマスタウン構想を早急に事業執行に向けた取り組みをしていただきたいと思います。

必要に応じて行動することやぶさかではなく、皆さんと連携しながら、解決できるものであれば情報交換を密にしながら対応していかねばならないと思っております。

## 全国町村監査委員協議会表彰

平成21年12月定例会の議場において、石川太一議員が町村監査委員として長年にわたり職務に精励し、地方自治の振興発展に貢献された功績により、神田町長より表彰状が伝達されました。

大変おめでとうございます。

この度、栄えある賞を頂きうれしくまた光栄に感じています。誠実かつ厳正であるべきこの職務を大過なく、多年遂行できたのも、私を支えてくれた皆様のおかげであります。ここに心から感謝とお礼を申し上げます。



石川太一 議員

### 監査委員の選任



田沢さん

町長から阿賀町監査委員の選任が提案され、監査委員に田沢利博氏が賛成多数で選任されました。

氏名 阿賀町鹿瀬  
住所 7587番地5  
氏名 田沢利博  
生年月日 昭和23年10月6日

### 人権擁護委員の推薦

人権擁護委員として推薦を諮問され、賛成多数で推薦されました。

住所 阿賀町平堀  
氏名 杉崎丈男  
生年月日 昭和21年5月11日

住所 阿賀町豊川  
氏名 佐藤道代  
生年月日 昭和17年9月5日



改良すすむ豊実発電所

## 請願及び陳情

◎電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長等を求める意見書  
議員発議（採択）

◎改正貸金業法の早期完全実施を求める意見書（採択）  
提出者 新潟県弁護士会

◎EPA・FTA推進路線の見直しを求め、日米FTA推進に反対する意見書（採択）  
提出者 農民運動新潟県連合会





## 22年度予算編成について

五十嵐 隆 朗 議員



## 常浪川治水ダム事業は

石田 守 家 議員

### 凍結同様の状況なのでは

質問

鍵取発電所建設計画が平成11年7月に突然中止され、県は企業局所管から河川課の土木部へ移行され治水ダム建設として継続されました。

しかし今日まで地域要望など全般について不透明で凍結同様の状況です。民主党連立政権は、全国各地のダム事業の凍結と見直しなど混乱しております。

このように国あげてその必要性が論じられるダム事業です、町として何の要望も県にできないのも実情、県財政など考え本来の治水ダム計画の見直し、河川環境整備全般について国・県にお願いしたらどうでしょうか。

魚の住みやすい清流・山地災害豪雨時も安心できる堤防などの完全整備、河床低下され、変形した河川改修の要望が今日一番不可欠な本事業の結論かと私は考えますが、神田町長の答弁を求めます。

### 予算編成過程の透明化

質問

平成22年度予算編成に当たっては、厳しい現下の政府並びに地方団体の財政のもとにあつて、従来にも増して事務事業の見直し、行政機構の簡素合理化と経費の節減合理化等による行財政の簡素効率化と経費の節減合理化を進めながら、限られた一般財源を重点的かつ効率的な配分に努める節度ある財政が期待されます。しかし、今年には特に政権交代し、厳しい国の財政事業から補助率の引き下げ、補助金の削減などによって、阿賀町にも財政に及ぼす影響は計り知れないものがあると思います。先日、町長、財政担当職員による財政の説明会によりまずと、財政運営の抜本的な見直しがさらに必要と感じました。そこで、予算編成方針を公開できないものか。

### 十分検討させて下さい

町長

特別に隠さなければならぬものはありません。財務規則にも定められていて、法

・今日まで約170億円の総事業費が投入されています。  
・国の補助金など精査、難題も加わり、この先治水ダム建設は困難、適切な行政側の判断を願うものです。

### 県の判断見守りたい

町長

私の考え石田議員の考えは共に歩んできています。中身は同じです。昨年の春でした



ダム建設が予定された常浪川

に定められた手順に従ってやっています。

### 基本方針を、町民は理解していない

質問

町民が要望を出しても、「財政が厳しい、財源がない」で終ってしまいます。基本方針を公表すれば財政内容も理解していただけと考えますが、

### 説明不足

町長

今後機会があるごとに、方針など、お話を町民の皆さんにしていきたいと思います。

### 査定状況の公開

質問

予算編成過程の透明性を高めるため、査定状況の公開、予算案を議会に提出するだけでなく、直接町民に説明する場所を設けてはいかがか。

### 透明性、公開性を受容

町長

今年の場合、なかなか先が見えない部分もございますが、従来どおりになる部分も多分にある中で、必要に応じては、冊子にしてお上げる

### 実効性のある総合計画を望む

質問

来年度から町総合計画の後期5年に入りますが、現在の国の動向や町の財政状況は、合併時の計画当初とは大きくさま変わりしています。合併時に策定された旧町村の事業をそのまま継続させている計画は、財政の厳しい今こそ、明確な阿賀町としての方向性を示す具体的事業の検討が必要なのではないでしょうか。現状ではまだまだ意見を聴取



査定風景

### 詰めの検討作業中

町長

高齢化や人口の減少による不安の増加、農林業等の産業保健、医療福祉、教育、集落対策等々の課題を整理しまして、子供から高齢者まで安全に安心して健康で頑張ろうというテーマを据えながら、詰めの検討作業を行っています。5年後の目標数値やそれに向けた主要施策も示す予定ですが、総合計画審議会に1月中旬に諮問したいと思っています。できるだけ早く皆さんのお手元に計画がわたるよう努力させていただきます。

### 要望

予算は、行政施策の心臓部ですので、この部分こそ町民に聞かれ、大いに町民の声を聞いてつくっていただきたい。

# 町政を質す

宮川 弘 懿 議員

**質問** 新政権による「事業仕分け」によって、国の助成が削減され2項目に入っております。同センターの事業内容は、行政の手の届かないところ、民間の会社までは、利益の出ないような事業が大半です。

町内でも、最も多くの人が働いている職場ですし、従って、医療費の削減効果に貢献しているはずですが、高齢化社会において、同センターの果す役割は大きいものがあります。町としていかなる対応を考えておられますか。



親睦を深めて

## シルバー人材センター 援助事業の予算削減問題

現状維持を訴えるべき

存在意義をアピールする

**町長** 活力ある長寿社会実現のために、これまでの経験を生かして、労働意欲のある元気な高齢者に就業の機会を提供することは極めて重要な施策であると認識しております。

**質問** 現在、どこの団体にも所属しておらず、何らかの活動をしたかと思っている人が大勢おります。その組織づくりを役所が中心となつてやることによつて、幅広い活動の分野でできると思えます。

**町長** 社会福祉協議会の中にボランティアセンターもございますが、町民生活課の中で、それと連絡をとりながら、対応していきたいと思えます。

**質問** ボランティア活動を総合的にまとめる部署の設置



さあ、きれいにしよう

**質問** 敷設する業者の説明だけでは、理解できないお年寄りは少なくないと思えます。早く使いこなせるように、何らかの対応をお願いしたい。

**町長** 2月から、IT指導員を、6人ほど雇用して、この人たちを中心にして、地域の皆さんに参加してもらい、お年寄りの皆さんが十分使いこなせるような体制づくりをしていきたい。

**質問** 使いこなせない テレビ電話

# 通学児童の交通の安全を確保せよ

佐藤 郁 夫 議員

**質問** 大鹿瀬田中地区で阿賀町鹿瀬支所の車庫がある。午後3時半前後になると仕事を終えた運転手さんがマイクロバスを洗車している。その頃学校を終えた小学生が隊列を組んで帰ってくる。進行方向で洗車しているので前方が見えにくい、安全を確認して家路についている状態です。これからの冬場は洗車の水で路面の凍結のおそれがあり危険です。車庫のわきには空地もあり少し整備すれば洗車は充分にできます。歩行者の安全のためにも町長の英断を期待する。(旧鹿瀬町当時からごく自然な型での洗車の方法として現在の路上での洗車方法がとられていた)

**町長** 現在スクールバスや福祉バス等公共交通対策で稼働しているバス関係は複数の業者で対応している。去る12月10日鹿瀬支所において田中車庫を



指摘を受けた車庫(鹿瀬地内)

**質問** 各地区の東京ふるさと会について

利用している運行業者を集めて、企画観光課と鹿瀬支所とで対応について協議した結果今後は歩行者の妨害となる田中車庫前の路上での洗車は行わないこととした。また今後の洗車については鹿瀬支所の車庫の前で行なう事と運行業者と取り決めた。

町としては通学道路の安全対策に充分配慮し児童の交通安全につとめたい。

**町長** 4つのふるさと会にその都度出かけていくのも大変である。そうかと言って合併せよとはいえない。各ふるさと会は町にいつまでも負担をかけられないということ各ふるさと会の代表が集まって合併も含めた検討もしていると聞いている。いずれ将来は合併の方向にいくのだろう。来年の5月には東京津川会が幹事となつて合同で実施する話をお互い生まれてくるのではないか。

町、旧鹿瀬町、旧三川村、旧上川村) 4つのふるさと会がある。一つにまとまる訳にはいかないのか。阿賀町も合併してから5年になる。しかしふるさと会は4つある地元関係者は東京に4回行く事になり経費も相当な額になる。そこで提言する。会場は一カ所としその中で各地区ごとに分かれて集会し、宴会は一カ所にまとまり全員でやる。参加した各地区の人達もお互いの交流も通じ親睦も深まり阿賀町は一つなのだという意識がお互い生まれてくるのではないか。

**町長** 自治体の合併と商工会の合併が必ずしも連動しているとはいえない。合併について調査した結果によると当分の間現状維持という報告があった。この報告は2年前であることから今後は統合を含め合併の方向に進んでいくのではないか。ちなみに今年の商工会の新年会は4つの商工会が合同開催すると聞いている。いずれ合併の機運につながっていくのではないかと期待している。

**質問** 阿賀町商工会の合併について

阿賀町には旧町村単位に商工会が一つづつある。阿賀町商工会として一つあればよいのではないか。多額な補助金をだしている町の考えを聞きたい。



# 若者の定住対策及び婚活対策 にもっと本腰を!!

神田 八郎 議員

**【質問】**  
去る11月に総務文教委員会  
で長野県の飯山市へ「定住対  
策支援事業」の研修に行つて  
きました。飯山市も人口減少  
が進んでおり、この5年間で  
1600人程の人口減であり  
平成18年度から市役所内で  
（いやま住んでみせん課）  
という課を設けてNPOのふ  
るさと回帰支援センター等と  
連携をしながら定住対策に取  
り組んでいました。①短期の  
滞在支援策としては（イ）四季  
折々開催のまなび塾（ロ）5  
11月の毎月開催の百姓塾 ②  
長期滞在支援策では（イ）お試  
し田舎暮らし体験（1〜6ヶ  
月）（ロ）素泊まり田舎暮らし  
プラン（20〜50泊券）での体験  
泊 ③定住対策としては（イ）  
空き家見学会（年5回）（ロ）  
空き家登録バンク（不動産業  
者仲介）等を実施してしまし  
た。そして④出会いの場支援  
事業として、年数回の独身男  
女のお見合いツアー即ち婚活  
支援を実施しており、平成18  
年から20年の間に約130人  
程の転入者を見ているという

**【町長】**  
ことですが、過疎化を防ぐに  
はやはり、男女の出会いの場  
づくりが大切かと思えますが  
どうでしょう。  
**【町長】**  
当町においても合併後4年  
半で1322人の人口減です  
ので、年平均300人弱の減  
少ですの一層の定住対策が  
必要かと思っています。その  
対策例として（空き家の紹介  
各種定住奨励制度、暮らし体  
験住宅、無料職業紹介等）を  
実施しているところです。  
「空き家、空き地の登録制  
度」では現在までに24件の空  
き家の登録で14件の契約を見  
ており、空き地では11件の登  
録中3件が契約済で、県内か  
ら3世帯9人の移住実績です。  
また平成19年度は20世帯30人  
平成21年度では26世帯50人の  
移住者を見ておりますが今後  
は若者の出会いの場づくり等  
の取り組みも推進していく必  
要があると思っています。



若き日の西郷四郎

**【質問】**  
飯山市での婚活支援は…  
飯山市での婚活支援事業は  
平成21年度から3年計画で年  
数回を市内の各所で毎回30人  
程で予定しているそうです。  
1泊2日で各7〜9千円を自  
己負担でその差額を市で支援  
しており、最終的には300  
万円程必要だろうとのことだ  
す。支援企画等の大枠は市の  
職員ですが細部はNPOの回  
帰支援センターに委託してい  
るそうでピアーアルは市のホ  
ームページや観光協会、都会  
でのイベントの際にチラシを  
配布しているとのことでした。  
**【町長】**  
皆さんの研修されてきたも  
私も後援会員のひとりです  
がポートもさることながら、  
柔道も再認識して我が町の魅  
力のひとつになるよう勉強さ  
せていただきたいと思います。



# 町職員の町外転出を防げ!

猪俣 誠一 議員

**【質問】**  
町が過疎対策を進めている  
なかでの町職員の転出は、事  
業の実効性に疑問を感じざる  
を得ない。人はどこに居住す  
ることも自由であるが、職員  
の転出には異議がある。  
給与が町税でまかなわれる  
事や、町政運営の主たる財源  
となる交付税も、住む人口が  
根拠にもなる。また、雇用状  
況が不安定な町内にあっても  
町職員は、社会の変動に動じ  
ない給与所得者であり、地場  
消費など、地域活性化には欠か  
せない存在である。  
結婚や介護等の家庭の諸事  
業による転出は、やむをえな  
いが、町職員は原則として町  
内に居住すべきである。  
**【町長】**  
職員は町内に居住すべきと  
の意見に異論はない。雇用に  
も難渋する、こういう地域で  
あるから指摘を受けるとい  
うことを、職員も認識し、気持  
ちの中に入れて欲しい。

**【質問】**  
町外から新採用される方に  
は、可否は別として、面接時  
に採用要件として、町内に住  
むことが可能か確かめて、現  
状、居住して勤めている。  
**【町長】**  
住民の安全安心を守るため  
に、町の防災を含め、緊急時  
の対応を求められる職にあつ

## 町災害対策本部 全体組織図



**【町長】**  
危機管理上の観点や職務上  
から、ここに居なければなら  
ないというのがあられるわけ  
で、人事管理上、速やかに反映  
できるようにしたい。  
緊急時対応に必要欠くべか  
らざる職にある者には、町内  
に居住することを原則として  
認識してもらうよう努めてい  
く。  
危機管理上の居住の定め  
については、可能かどうかを勉  
強し、対応したい。

## 防災上の危機管理職 条例で転出を禁止せよ

阿賀町外に現住所を置く職員数  
平成21年10月28日現在

		男 女		年代別計
		男	女	
阿賀野市	50代		3	3
	40代	1	1	2
	30代		1	1
	20代	1	2	3
	小計	2	7	9
五泉市	40代	1		1
	30代	2	1	3
	20代		1	1
	小計	3	2	5
新発田市	30代	2	1	3
	小計	2	1	3
新潟市	50代	2		2
	40代		1	1
	30代	5		5
	小計	7	1	8
合計		14	11	25

## 居住の定めは 可否を検討後





小池隆晴 議員

## 今後の自治体経営

### どうなる地方分権

【質問】

機関委任事務制度の廃止、これにより各自治体の経営基盤は、自己決定、自己責任、自己負担と考えます。まだ問題が山積している地方分権ではありますが、これからの阿賀町における構想、政策等をお聞かせします。

【町長】

本町が現在抱える少子高齢化、医療福祉に関する問題、産業や観光の振興など、山積する課題解決は、地方分権が進んだからと言って、また財源がどう変わろうと一朝一夕に解決できるものではありません。今後、さらに行財政改革の推進によって、健全財政の確立を目指して、いっそうの行政のスリム化を図り、基本であろうと思えます安心、安全に住むことができる生活基盤の構築を目指します。

【質問】

これからの地域のまちづくりは高齢者重視へとシフトせざるを得ないところがあると

考えますが、高齢政策のプランがあったらお願いします。

【町長】

皆さんが希望を持って、生きがいを持って生活ができる環境づくりを進めて生きます。生産的な部分にも力を発揮してもらえような体制作りが大事と思っています。

【質問】

時代の流れ、変らざるを得ない自治体、今後の阿賀町における新しい自治体の姿をお聞かせします。

【町長】

後期の総合計画に盛り込んで、活力のあるまちづくりに取り組んで行きたい。

### 子供の暴力が増

【質問】

文部科学省から、2008年度に全国の国公私立の小中の把握した校外の暴力行為は、5万9618件と発表された。県内では、前年度と比べて158件の増、1188件と発表。

文部科学省は、理由を①規範意識の低下、②感情を制御



どうかわる自治体

できない、③コミュニケーション不足と分析しています。阿賀町ではどうなのか、お願いします。

【教育長】

暴力の増加傾向には猶予してみているところであり、阿賀町では、この新潟県1188件の中には含まれていません。

数字の中に入るような暴力行為は発生していません。現在、中学校で特に3点を重点に取り組んでいます。

①心の充実、安定を図る教育  
②一人一人が存在感、充実感を持てる教育

③地域に貢献する心や夢を育てていく教育を推進しています。



心の充実をはかる

【質問】  
校長、副校長先生の希望降格制度は子供との暴力に関係ありますか？

【教育長】

降格、降任につきましては昨年度から取り組んでいます。阿賀町にはそういう希望者はございませんが、新潟県内には数人います。指導上の悩みではありません。個人の体調と聞いています。



渡部英夫 議員

## 文化活動の活性化について

【質問】

阿賀町文化活動の活性化について伺います。文化活動促進の拠点施設である、阿賀町文化福祉会館が目的にふさわしい施設になっているのか疑問を感じている。我が町唯一のホールを備えた文化会館として、これからの活動の拠点としての役割を担えるよう施設の改善や修理が必要と思えます。駐車場の確保、舞台照明の改善、音響施設の修理・改善、特にワイヤレスマイクがないための不備、冷暖房施設の改善等、我が町の文化を継承、発展させる上で大切な役割を担える施設改善の質問です。

### 照明・音響設備は既決予算で対応

【町長】

文化会館は昭和56年に竣工して以来、民謡やカラオケの発表会、コンサートなどに幅広く利用されている施設で非常に古くなり一部の利用に不都合を生じていることは認識している。大ホールの照明と音響設備については既決の予算の中で改修予定です。冷暖房施設は個別に改修することが困難であり、今後大規模修繕の施設改善と併せて対応を考えたい。駐車場の確保は難渋いたしております。町有地もありましたが少し遠いことから利便性に欠ける等で、

### 文化協会について

【質問】

事務所や津川小学校の駐車場を利用させていただき等で対応して参りたい。

阿賀町文化協会は大小合わせて64団体が加盟し、色々なジャンルの活動をされており、加盟団体が全て活発に活動されておられるのか疑問に感じております。

しかし加盟団体の中には阿賀町を代表するような、町外にまで名前が知られた団体もいくつかございます。文化活動に力を入れようと発信すれば当然のこととして個人的な経



改修まれる文化福祉会館

済支出はやむを得ないものと思えますが、個人の負担にも限りがあると思えますし、町として物心両面の支援があってもいいのではないかと。加盟団体の活動状況を把握の上必要な予算処置を講じて頂き、阿賀町文化協会の活発な活動の支援を願います。

### 厳しい財政事情ではあるが可能な限り支援を高めたい

【町長】

町文化協会は町の文化振興団体として大いに活動されていると思っております。町から協会への支援は、補助金、練習会場の無料開放、各種発表会への後援等行なっておりますが、協会運営を考える中で厳しいのかなとも思っております。引き続き文化の振興に貢献していただくことには、厳しい財政状況ではあります。可能な限り支援を高めていくことも、考えていく必要があるのかなと、改めて感じているところではあります。町民の皆様方に更なる文化意識を高めていただくという、大変有意義で

### 文化協会への予算配分が少なすぎる

【再質問】

文化福祉会館については町長と大体同じ考えと思っております。しかし文化協会への予算配分が少ないと思えます。加盟団体の活動状況等考慮の上予算組み立ての段階で対応をお考え頂きたい。

### 可能な限り改善したい

【町長】

文化協会の補助金についてはかなり難しい。事業に就いて補助するというのが本来の姿であると思っております。見直していくということもあつていいのかなと思えます。事務局等ともよく相談の上可能な限り改善し、必要な額をどこまで支援できるのか、その辺も併せて検討材料にしたい。



# 阿賀町内、ハローワーク登録者 求人80人、求職者226人

入 倉 政 盛 議員

## 周知徹底を

質問

離職を余儀なくされた方、休職中の方々の生活の安定および再就職の促進を図るため、就業と生活相談を一体的に、県では「新潟県求職総合支援

町長 現在「緊急雇用事業」で4事業を実施中で、今回の補正で2事業計上しました。延べ18人、「ふるさと再雇用」対策は2人、両方合わせて20人の雇用です。緊急雇用の効果がでるよう、より以上の雇用を増やす取組みをしているわけです。町単独で、場合によってはやる必要も考えてきます。それらと併せて積極的に取り組んでいきます。

## 町の雇用対策は

質問

新潟県は新規雇用対策として「緊急雇用創出臨時特例基金」・「ふるさと雇用再生基金」の2事業の活用では阿賀町の雇用者数が少ないと思う

町長

今年の7月14日に県の振興局内に開設しております。積極的に町の方としてもホームページに掲載するなり、町だより、チラシ等で知ってもらいみなさんからお気づきの点があったら周知できるように協力お願いできればと思っています。



津川地域振興事務所

## 雪始末対策で雇用を

質問

県の「新潟県特定地域の自立・安全を支援する事業(冬期集落安全安心確保対策事業)」について交付金・補助金制度があります。阿賀町での要援護世帯に対する「除雪費助成事業実施要項」があります。雇用対策や社会保障的なものとして電話一本で高齢者等の雪始末ができるよう臨時職員の配置は考えられないか。

町長

除雪対策で臨時職員を配置するというようなことは今のところ考えていません。県の雪対策事業は本年度からで、本年度は調査事業でこの冬職員を複数回派遣し、道路除雪、各世帯、集会所等の雪下ろし状況を確認し、区長さんから様子を聞きました。雪の課題や対策が有効かを集落と一緒に協議して、集落ごとの雪対策計画を策定していきます。

県の基準は高齢化率50%以上



除雪がまたれる高齢者住宅

詳しくは「新潟県求職総合支援センター」へ  
新潟地域振興局4階  
新潟市中央区川岸町3-18-1

開所時間  
月曜日から金曜日  
午前9時から午後4時30分

# 新潟昭和株の規模縮小に 行政としての対応を問う



波 田 野 哲 夫 議員

## 契約期間の延長と新規事業の導入を陳情しよう

質問

地元唯一の大企業である新潟昭和株が経営の2本柱の1つであるピチットシート部門を来年の3月をもって閉鎖すると発表しました。

新潟昭和株の従業員20名と下請け企業の40名が失職することになります。

このピチット部門の他社への売却は、3年前に公表されておりまして、以後3年間は売却先から生産委託を受けて操業してきたのですが、この度の契約終了と共に売却先の会社が自社生産するというところで、契約の打ち切りを通告してきたのです。

事前にわかっていたとはいえず、会社間の交渉で契約延長の話もあったことから一縷の望みを持っていたのですが、それも切られてしまつて、新潟昭和株の従業員、下請けの従業員の間にならざる動揺が走っています。ここで失職する60名を雇用

できる企業は、残念ながら東蒲にはないといつていいかと思えます。

やはり一番いい方法はピチット生産の打ち切りではなく、もう何年か契約を延長し和株からピチットに代わる事業を導入して育ててもらうことです。

ピチット生産を止めてしまうと、あの広い工場敷地の大半が遊休化してしまいます。

何かできるはずですか。このことを関係各社に強力に陳情することです。

その先頭に町長に立っていただきたいのです。

阿賀町をこれ以上衰退させないために、阿賀町100年の計のためにもぜひお願いします。

町長

ピチット部門閉鎖まで3年間



新潟昭和株正門前

の予告期間があったわけですので、その間にもいろいろ自社で取り組むことができなかったのか、先日新潟昭和株の社長、幹部職員と役場での面談の際にお話し申し上げたのですが、社会事情でなかなか新たな取り組みはできなかったようです。けれども、これが延長になるのであれば、いろいろな手立ての中で取り組みをすることは一向にやぶさかではありません。

ひとつ望みがあることは、全面撤退ではなしに、新潟昭和という企業が残るわけですから、これを機軸にして、いつの日か、かつてのようになるにはなかなか大変でしょうが、施設的にはピチットシートの生産情報、機密性の高い精密機械も取り扱えるような設備になっているということですので、それらを訴えながら一緒に行動を起こすことには、先程申し上げましたようにやぶさかではありませんので、皆さんと連携する中で道が開けるようなことにしたいだけならば幸いです。

そういうことで、ひとつ私も取り組みをさせていたただくことには前向きに取り組んでいきたいと思っておりますので、ぜひひとつご理解をいただきたいと、こう思います。またご協力をいただきたいと思えます。



# 湯ったりカードの見なおしを

清田輝子 議員

**質問** 厳しい財政の中で、65歳以上の方々に無料の湯ったりカードを提供しています。長年働き、町税を支払い、行政を支えていただき、労をねぎらって無料入浴をしていただくことは望ましいことであると思います。今、湯ったりカードの利用できる温泉は7カ所です。津川の清川高原保養センター、鹿瀬の赤湯、赤崎荘、三川のY&U&湯、寿の湯、上川のみかぐら荘、あすなる荘です。7カ所に、2100万円の補助金を配分します。2カ所もっている某温泉では上半期で入浴客は、1万4200人、金額は426万円（入浴料300円）も1カ所では、入浴客4600人、金額で230万円（入浴料500円）。上半期で120%越えました。（旧町村にある温泉配分は各500万円）。残りの下半期の補助はありません。各温泉の損失となり

**町長** 無料湯ったりカードをもらったら行きたいという人が随分いることです。今ここで無料をやめる勇気は容易ではありません。たびたび言われるように、人のことを考えない利用者も結構多いです。そうやって来ると無料というのもどうかありません。しかし、一つの楽しみであり喜びでもあると考える無料



このままで良いのか、湯ったりカード

**町長** 利益を生んで施設運営するのが本来あるべきことです。上半期で補助金を使ってしまったと言うことでありますから、この手立てについてはご理解いただきたいと思っております。質問いただいたことについては真摯に受けとめて行きたいと思っております。

## タダほど高いものはない！

質問

厳しい財政の中で、65歳以上の方々に無料の湯ったりカードを提供しています。

## 継続をしたい！

町長

ます。第三セクターの運営が成り立たなくなれば税金の投入です。その税金は町民の支払いとなります。湧き出る温泉はタダでも水道、電気、その他はタダではないのです。100円（ワンコイン）の入浴料を支払い温泉運営の手助けをしていただきたいと思います。今後も無料湯ったりカードの継続をするのか町長に伺います。

入浴をやめるのはどうかと。そういうことも合わせて少し工夫してみたいと思います。上半期で多くの皆さんが利用されたと思います。雪がこのような状況（雪が無かった）であれば財政的にも余裕がでるかと思いい利用交付金を増額してもいいかと考えています。しかしこれを当てにして運営を黒にしようと思わないでこれを励みにして頑張ってもらおうよう施設の皆さんから協力していただく中で対応したい。

## 有料にすべき

質問

無料湯ったりカードは平等ではありません。行ける人、行けない人が居ます。温泉運営は利益を生まなくては成り立ちません。行ける人は、100円（ワンコイン）の支払いをして協力するのも町民の役目だと思います。無料でいいのは、子供です。子供には保護者がついて来ます。保護者の入浴料は利益です。今後この温泉を長く継続するには、利益を生むワンコインは大事であると思います。

## 真摯に受ける

町長

利益を生んで施設運営するのが本来あるべきことです。上半期で補助金を使ってしまったと言うことでありますから、この手立てについてはご理解いただきたいと思っております。質問いただいたことについては真摯に受けとめて行きたいと思っております。

# 情報サービスと三セク経営状況について



斎藤秀雄 議員

## 情報開示をすみやかに

質問

阿賀町情報サービスは情報開示不足と思われます。例えば各課の事業予定等空白で同一事業と思われる行事が行われていることや情報公開すべき事業が不記載であったりしています。整備されてきているネットワークの運用に向けての考えを伺います。

## 積極的に開示する

町長

ネットワークで情報開示は積極的にやっていき各課の行事予定、行政情報は広報等も同じ公開を進めていく。ホームページ活用は積極的に推進奨励し各課の利用状況が不足であることは今後改善に努めます。

## 入札監視委員会 は不要

質問

入札監視委員会は公開が原則ですが、開催日時等不明で



入札監視委員会

## 第三者機関として

町長

議事録公開のように基本原則である透明性の確保、公正な競争促進と適正施行確保、不正行為の排除を目的に検証しているのが実態です。今後、開催日時等は公開をします。町民監視を願います。私は第三者機関として十分な機能發揮していると認めています。

## 「阿賀の里」三セクは

質問

阿賀の里を含む三セク経営状況を伺います。

町長答弁は「阿賀の里」に関してはいつても銀行債務整理の遅延が報告されます。議会との約束は速やかに対処する条件でしたが、地代の未収と併せどようになっているのか伺います。三セクの施設経営は「奥阿賀観光」をはじめ7月以降の経営状況について伺います。9月の国体で状況はよくなったと思いますがこの冬期間に向けた戦略があるのか伺います。

## 負債圧縮に努力中

町長

阿賀の里をはじめ三セク経営は負債圧縮中です。この国体の恩恵で各施設とも状況は向上しましたが、これからの冬期間の経営状況は大変になると思われるので、民間支援が受けられる体制づくりを進めていきたいと思っております。

## 積極的に対応したい

町長

町民の負担にならないように努力し年度内には処理するように努力したい。

## 三セクの振興には

再々質問

阿賀町タウン情報の発信をし、国体後のポータル合宿誘致する等できることをしてはどうか。

## 積極的に努力する

町長

検証して取り組みます。



### 合唱

阿賀町には4つの合唱団があり、毎年11月第3日曜日は「里の秋ふれあいコンサート」を行ないます。麒麟山の紅葉が美しい季節に楽しくホットな雰囲気です。

私は阿賀野川混声合唱団に所属していますが、昨年12月13日にかのせ混声合唱団をお招きし、みかわ会館ホールを会場に7回目の演奏会をしました。阿賀野川を歌う会の有志、村松・阿賀野市の合唱団に声掛けをして参加してもらいました。会場には町内外から多数のお客様にお越しいただき、演奏会は「少年時代」から始まり、会場の皆様と一緒に歌おうコーナーではほぼ全員の方が立ち上がり「ふるさとの将軍杉」と「ふるさと」を大合唱しました。お客様と合唱団がひとつになれたすばらしく充実した演奏会となりました。

歴史のない小さい合唱団でありながら回を重ねられるのは、阿賀町のオリジナル曲とも云える「組曲阿賀野川」があり、かのせ混声合唱団が大切に歌っている「万治峠賛歌」「万治峠に雪が降る」と云う曲があるからだと考えています。他にはない大切な宝物だと思います。

お客様には、日報の「窓」に感想を寄せいただいたり、アンケートにはとっても暖かいお言葉が多く、心から応援して下さる気持ちが伝わり身の引きしめる思いで読ませていただきました。

今の世の中地球環境の変化で予期せぬ大きな災害が起ったり、見たくない、聞きたくない様な悲しい出来事がたくさん報道されるようになりました。合唱の力が心の糧として少しでもお役に立てるならば、私達を支えて下さる周りの方々に感謝の気持ちを忘れず歌い続けてゆきたいと思います。

皆様もご一緒に歌いませんか。お待ちしております。

### いきいきサロン活動

いきいきサロン活動は、三川地区で平成12年に発足し、今年で10年目を迎えます。70歳以上または一人暮らしを対象にしました。気軽に集会所に集まり、話し合い、ゲーム「用具の貸与も有」と軽い運動をして1日を楽しみ事で身体の健康を維持し、寝たきりになるのを少しでも改善することを目的に始めました。三川地区の参加地区は16地区で活動し、年6回から多い地区では20回位実施しています。いきいきサロン活動をここ迄続けてこれたのも発足当時から社会福祉協議会の指導と、地区ボランティアさんの協力がなければ続かなかったと思います。もう一つ大切な事は活動の中に昼食時間を組んでいる事、この時間を作ることで皆さんが和気藹々となり良い雰囲気生まれ、会話する時間も出てくるようです。問題もあります。10年も経つと年代ががらりと代る時期が来ますが今後も続けて行きます。



みんなでゲーム

## 研修会を終えて...

平成21年11月16日(月)阿賀町庁舎 第三会議室にて全国町村議会議長会議事務局調査部 部長岡本光雄氏の『新しいまちづくりに期待される議会・議員の活躍』という題で研修会を持つ機会を得ることができた。

昔には地方議員、地方議会に対する批判は日増しに強まる傾向にある。選挙のときは熱心だが、その後、4年間はさっぱり顔も出さない。いったい議員は何をやっているのか、と言った批判である。

「地方議員は要らない」と言った話まで横行する。

議員の説明不足、日常活動の不十分がこうした関係にあることは不幸だと思う。そんな不幸な関係に議員のみならずは危機感を感じて、講習会を依頼、開催した。

日本はいま大きな転換期にある。正直、今後国に頼っていても何も変らない。膨大な借金も抱えている。町民の手

でコントロール可能な地域主権のまちづくりが急務だ。

—政治の担い手について身近な地域レベルから考えることが大切となっている。

講習会講師の岡本氏も次の言葉で講習を締め付けています。目指しは『マイ議会』

：地域・住民手作りの議会(あくまで基礎自治体の議会) \* 議会は『いいまちづくり』をするため

『住民』のため長もおなじはず、要は、役割が違うこと \* 議会がいい議論をし、

いい結論を出さないと、長はいい執行はできない。と...

地方議会が戦後長らく続いたような従来の単なるチェック機能(脇役)だという発想なら、何の進歩もない。地方議会は自ら立



地方議会はどうあるべきか

案し、首長提案の議案も是非々の立場で徹底審議することが求められている。

部分代表として選ばれてくるだけに地域に密着した議員活動に伴う問題提起(ドブ板活動)、パイプ役が求められる。住民に活用される議会に“変わるか正念場である。

## このごろの笑い

この頃、テレビを見ていると、どの局も同じお笑い芸人が出ている。

第何次お笑いブームだとのことだが、聞いていても何処で笑うのかわからない。笑う前に出てきた芸人の持ち時間が終わっているときがある。

「笑いは暮らしの潤滑油」なんて言われ、笑うと横隔膜が刺激を受け、内臓が動き出し、血液の循環がよくなり、健康にいいと言われている。

日本人は笑いを知らないとか、ユーモアを解さないとか言うことも耳にするが、そんなことはないと思う。

ひと昔前ころには、やすし・きよし、いくよ・くるよ、中田ダイマル・ラケット、かしまし娘等の漫才を聞き涙を流しながら聞いていた。本など読んでいると自然に、やつくときがある。また鏡の前で意識して笑いをつくる時もある。

多くは誰かを相手にしての

「コミュニケーションとしての笑い」だが、私たちは笑いを優れたコミュニケーションとして機能させているが笑いの表情は複雑である。

